



放牧準備・乳牛飼養管理について

□放牧の準備

放牧開始が遅れると、放牧草の利用率が低下します。計画的な放牧準備と馴致（慣らし放牧）を行いましょ。

○放牧場出入口と牛道の整備、水槽の給水配管に破損がないかの確認を行う。

○草丈5～10 cmになったら、屋外の環境や放牧草に慣れさせるため馴致を開始

馴致(馴らし放牧)期間の目安

経産牛 2週間 育成牛 3～4週間

※最初は1時間程度の放牧から開始し、その後、徐々に放牧時間を延長し、馴致する。

□乳牛飼養管理など

気温が上昇してくるこの季節は、サイレージの変敗や牛舎内の温度・湿度の上昇などが懸念されます。牛にストレスを与えない飼養環境づくりに努めましょ。

○サイレージの取り出し面は、凸凹のないキレイな断面になるように管理する（二次発酵防止）。

○サイレージの品質を確認し、カビや不良発酵した部分は取り除く。

○牛舎内は、換気扇の稼働や窓の開閉などにより、風通しを良くする。

○こまめなエサの掃き寄せや水槽掃除などにより、乾物摂取量の低下を防ぐ。

○農場出入口へは石灰帯、牛舎出入口では踏込み消毒槽を設置するなど、農場内の衛生管理を徹底する。



夏のサンバエ発生対策は
春から始めましょ
詳しくはHPを参照！

機械の点検・整備を行い、
農作業安全につとめましょ。



HPは「宗谷農業改良普及センター」で検索、
またはQRコードから